

世界 LNG 動向 2021 年 12 月

橋本裕 *

はじめに

スポット LNG 価格高騰の影響は、2021 年 11 月分のアジアの LNG 輸入価格に鮮明に表れた。10 月にスポット LNG 価格（翌月渡し分）は高水準を維持し、適用原油価格も上昇したことで、各国の平均輸入価格は、大幅に上昇した。100 万 Btu 当たり、中国 17.65 米ドル、韓国 15.42 米ドル、台湾 20.89 米ドルに対して、日本が 14.30 米ドルと、前月より上昇したが、4 市場中、最も安価となった。

日本向けの 2021 年 11 月分の供給源中では、米国産 LNG が 22.30 米ドルと突出した高値となった。同月の同国からの 40 万トン輸入中、半分に相当する 3 カーゴが 30 米ドルを超える価格だったことによる。米国産は、低コストだが低価格ではない（FOB 引き取りは低価格で高価格転売、また未コミット分は最初から高価格で販売された）。スポット価格高騰下で、今般表面上の受益者は、最もスポット供給余力のある米国産 LNG となった。

日本の加重平均原油輸入価格は、2021 年 11 月には 1 バレル当たり 82.08 米ドルと 2014 年 11 月以来の高値を記録した。原油価格連動の長期契約供給が 7-8 割を占める日本平均 LNG 輸入価格は、今後も堅調に推移すると想定される。

欧州スポットガス価格は、12 月下旬に一時 60 米ドル近くまで上昇した僅か 10 日後、20 米ドル台前半で劇的な 1 年を終えた。アジアのアセスメントされたスポット LNG 価格もこのトレンドに追随し、2021 年末時点で 20 米ドル台後半まで下落した。

中国市場向けの長期契約での販売活動が続いている。米 Venture Global LNG は、中海油（CNOOC）向け、20 年間、年間 200 万トンの LNG を、ルイジアナ州 Plaquemines LNG 輸出設備から供給する契約を締結した。カタール QatarEnergy は、广东能源集团天然气有限公司（GEG）向け、10 年間、年間 100 万トン、新港國際天然氣貿易有限公司（S&T）向け、15 年間、年間 100 万トンの契約を締結した。bp は、国家电力投資集團有限公司（SPIC）向け、10 年間、年間 20 万トン相当の LNG 気化ガス販売契約を締結した。

台湾では、CPC の第 3 LNG 受入基地プロジェクトの計画立地点の移転を求める提案が 12 月下旬、住民投票で否決され、基地計画が推進されることとなった。

【アジア太平洋】

広島ガスは、2021 年 12 月 27 日、カーボンニュートラル LNG を初めて、マレーシア LNG 社から導入し、2022 年 1 月 2 日に、自社廿日市工場に入港する予定であることを発表した。

* 化石エネルギー・国際協力ユニット ガスグループ

九州電力、西部ガスは、2021 年 12 月 23 日、北九州市響灘地区における LNG 火力発電所の開発を決定したことを発表した。2022 年度始めを目途に合同会社を設立する。発電方式に CO₂ 排出量が少ない最新鋭のコンバインドサイクルを採用し、カーボンフリー燃料(水素等)の活用を視野に入れた設備とするとしている。

資源エネルギー庁は、2021 年 12 月 1 日、大手電力が使用する発電用 LNG 在庫について、各社の合計値を、毎週、ホームページに公表を開始した。

宮崎ガス、大阪ガス、九州電力、日本ガス、旭化成の 5 社でつくる「ひむかエルエヌジー」が、延岡市で建設を進めていた「液化天然ガス内航船受入基地」が完成し、2021 年 12 月 10 日、竣工式が行われた。

岩谷産業は、2021 年 12 月 14 日、相馬ガスと共同で、同社が供給する LP ガスベースの都市ガスに水素を 20%程度混合させて導管供給するための検討を実施することを発表した。

ベトナム開発に取り組む米国企業 Energy Capital Vietnam (ECV) は、2021 年 12 月 16 日、タイ B.Grimm Power および Siemens Energy が、ベトナム南部ビントゥアン省 Mũi Kê Gà (MKG) の LNG 火力発電設備を開発する自社の連合に加わったことを発表した。

ロシア NOVATEK は、2021 年 12 月 2 日、ベトナム PetroVietnam Power と、同国での LNG・発電プロジェクトでの協力協定を締結したことを発表した。

中国貿易統計によると、2021 年 1 - 11 月の中国 LNG 輸入量は 7136 万トン、前年同期比 20.6% 増となった。日本の 6728 万トンを上回っている。なお、中国中央政府の数字によると、天然ガス消費は 2021 年 11 月 317.8 億 m³、1 - 11 月では 3292.6 億 m³ と前年同期比 14.5% 増となっている。

bp 中国子会社は、2021 年 12 月 15 日、国家电力投资集团有限公司 (SPIC) 子会社と、2023 年から 10 年間の LNG 気化ガス売買契約 (SPA) を締結したことを発表した。bp は、广东大鵬 LNG 輸入基地を通じて、パイプラインガスを年間 200,000 トン販売する。

商船三井 (MOL) と Royal Vopak N.V. は、2021 年 12 月 16 日、商船三井が保有する世界最大の FSRU 「MOL FSRU Challenger」 の船主会社株式の 49.99% を Vopak 社が取得することに合意したことを発表した。今後船名を「Bauhinia Spirit」 に変更予定。商船三井と Vopak 社が共同保有することとなる新たな合弁会社は、香港液化天然氣接收站有限公司 (HKLTL) との長期傭船契約に基づいて、本 FSRU を香港洋上 LNG 受入基地に投入、桟橋の保守・操業サービス、および港湾関連サービスを提供する。HKLTL 社が進める桟橋の建設工事が最終段階を迎えており、2022 年中頃の操業開始を予定している。同プロジェクトは中華電力有限公司 (中電 = CLP Power)、香港電燈有限公司 (港燈 = HK Electric) が、推進している。同プロジェクトには、前記 FSRU 1 隻に加え、FSRU・LNG 輸送船舶用の両側型桟橋 1 本、龍鼓灘發電廠 (BPPS)、南丫發電廠 (LPS) と各々接続する海底パイプライン 2 本、両発電設備内のガス受入ステーション (GRSs) が含まれる。

台湾の 2021 年 12 月 18 日の住民投票で、中油公司 (CPC) 第 3 LNG 受入基地プロジェクトを桃園大潭藻礁海岸・海域から移転させる案が否決となった。

日本郵船（NYK）は、2021 年 12 月 24 日、インド GAIL(India) Limited と LNG 運搬船 GRACE EMILIA 複数年の定期傭船契約を締結したことを発表した。同船は燃料油とボイルオフガス（航行中にカーゴタンク内で気化した LNG）を利用する二元燃料低速ディーゼル機関「X-DF エンジン」、余剰ボイルオフガスを有効に利用する再液化装置を搭載している。

Excelerate Energy は、2021 年 12 月 8 日、バングラデシュ Moheshkhali Island にて、11 月 17 日に植林活動を行ったことを発表した。同社従業員が地元自治体、産業界の支援を得て、2 エーカーに 10,000 本のマングローブを植えた。

豪 Veneice Energy は、2021 年 12 月 23 日、サウスオーストラリア州政府が、アデレード港 Outer Harbor での LNG 輸入基地建設を承認したと発表した。同基地は同州唯一の LNG 輸入設備、世界初の再生可能エネルギー動力のものとなる、とする。建設は 2022 年半ば開始見込みで、フィナンシャルクローズ後、完成・コミッショニングまで 12 - 14 ヶ月間を要する。同基地 LNG 輸入開始、同州ガス網への接続は、2023 年末から 2024 年初頭を見込んでいる。同社は、ヴィクトリア州からサウスオーストラリア州への 680 km Seagas パイプラインを、同基地が両州にガス供給できるように、双方向型とする事業化調査を実施する。

ConocoPhillips は、2021 年 12 月 8 日、Origin Energy から Australia Pacific LNG (APLNG) における追加持分 10% 買い取りの第一先買権行使する、と Origin Energy に通知したことを発表した。ConocoPhillips 子会社は現在、APLNG の 37.5% を所有しており、他株主が第一先買権行使しない限り、取引完了とともに 47.5% を持つこととなる。この取引は 2022 年第 1 四半期完了見込みである。

Australian Industrial Energy (AIE) は、2021 年 11 月 30 日、ノルウェー Höegh LNG との間で、浮体貯蔵・気化機器 (FSRU) Höegh Galleon を Port Kembla 基地に配置する長期傭船を締結したこと、グリーン水素等受け入れ可能な次世代 FSRU 開発で協力することに合意したことを発表した。

豪 Woodside は、2021 年 12 月 9 日、Viva Energy との間で、同社がヴィクトリア州ギーロングで計画する LNG 気化基地容量権に関する話し合いを進めるため基本合意 (MoU) を締結したことを発表した。2022 年第 3 四半期を目標とする最終投資決定 (FID) に先立ち合意されるべき気化容量コミットメントを交渉する枠組、日程が記載されている。

豪 Woodside は、2021 年 12 月 22 日、Woodside, Keppel Data Centres Holding Pte Ltd, City Energy Pte Ltd. (City Energy Trust), Osaka Gas Singapore, City-OG Gas Energy Services が、西豪州からシンガポール、さらには可能性として日本まで、持続可能な液体水素 (LH₂) 供給チェーン実現性を検討する覚書 (MOU) を締結したことを発表した。自社が大規模な LH₂、アンモニア輸出拠点を構築することを計画する Kwinana での H₂Perth Hydrogen 設備計画の発表に続くものである。この検討は 2022 年半ばまで実施される。

豪州海上安全規制機関 NOPSEMA は、2021 年 12 月 24 日、Shell に、西豪州北西沖 Prelude 浮体 LNG 生産船舶に関して、12 月 2 日に発生した電気供給支障により緊急対応・安全機器の作動・人員避難に影響が出た事態の再発防止策完備まで、同設備の停止を命じた。

JERA は、2021 年 12 月 8 日、子会社 JERA Australia Pty Ltd を通じ、豪 Barossa/Caldita ガス田の権益 12.5%を取得する契約を、豪 Santos 子会社との間で締結したことを発表した。生産開始時期は、2025 年頃を見込んでいる。JERA は、本プロジェクトから、年間約 42.5 万トンの権益相当分の LNG を引き取るとしている。国際協力銀行 (JBIC) は、12 月 27 日、JERA との間で、融資金額 346 百万米ドル限度 (JBIC 分) の貸付契約を 24 日に締結したことを発表した。民間金融機関との協調融資により実施するもので、協調融資総額は 497 百万米ドルとなる。

PETRONAS は、2021 年 12 月 1 日、日揮 (JGC)・サムスン重工業 (SHI) 連合、 SAIPEM Spa に、サバ州岸近・容量年間 200 万トン以上の LNG 生産プロジェクトの並走基本設計 (FEED) 競合方式実施として、2 件の FEED 契約を発注したことを発表した。FEED 競合方式は 10 ヶ月間で実施し、2022 年末の最終投資決定 (FID) を見込んでいる。PETRONAS は FEED 勝者がエンジニアリング・調達・建設・コミッショニング (EPCC) 段階へと進むとしている。同 LNG 設備は、2026 年末までに稼働開始準備完了 (RFSU) で計画されている。PETRONAS は PFLNG SATU、PFLNG DUA の 2 件の浮体 LNG 生産設備を Kebabangan、Rotan 沖合ガス田で各々稼働している。

ConocoPhillips は、2021 年 12 月 8 日、インドネシア Corridor Block 生産物分与契約 (PSC) 54%持分を間接的に所有する子会社および Transasia Pipeline Company 持分 35% を売却する契約を締結したことを発表した。MedcoEnergi への売却であり、2022 年初に完了見込みである。

[北米]

米 EQT Corporation は、2021 年 12 月 7 日、高ガス価格の原因を LNG として責めるある連邦議会上院議員からの 11 月 23 日付書簡に、LNG 輸出は地球上最大のグリーンな動きとなるポテンシャルがある、と応じた。

米 Cheniere は、2021 年 12 月 8 日、Sabine Pass LNG 第 6 系列より初 LNG カーゴを実現した、とツイートした。実質完成は 2022 年第 1 四半期見込み。

Cheniere 子会社 Corpus Christi Liquefaction Stage III, LLC は、2021 年 12 月 7 日、FERC (連邦エネルギー規制委員会) に、Corpus Christi Stage 3 プロジェクト建設完了・業務に供する期日を 2027 年 6 月 30 日まで延長する申請を提出した。

米 Sempra は、2021 年 12 月 21 日、Sempra Infrastructure Partners における支配権のない 10%持分を、Abu Dhabi Investment Authority (ADIA) 子会社に売却する契約を締結したことを発表した。10 月、Sempra は Sempra Infrastructure の 20%支配権なし持分を KKR 関係会社に売却完了した。ADIA への譲渡完了後には、Sempra は Sempra Infrastructure の 70%支配権持分を持つこととなる。Sempra Infrastructure は、2021 年、インフラストラクチャー子会社 2 社 Sempra LNG ・ Infraestructura Energética Nova, S.A.B de C.V. (IEnova) 統合により創設された。今回の取引は 2022 年夏完了見込み。

FERC は、2021 年 12 月 13 日、米 Venture Global Calcasieu Pass, LLC による液化設備第 2 モジュールでの稼働開始準備作業開始申請を承認した。

米 Venture Global LNG、中海石油气电集团有限责任公司（气电集团 = CNOOC Gas & Power Group）は、2021 年 12 月 21 日、20 年間売買契約（SPA）を発表した。Venture Global は、年間 200 万トンの LNG を、ルイジアナ州 Plaquemines LNG 輸出設備から FOB 条件で供給する。さらに CNOOC Gas & Power は、Venture Global の Calcasieu Pass LNG 設備から、これよりも短い期間で 150 万トンを購入する。

Venture Global LNG は、2021 年 12 月 2 日、ルイジアナ州内に自社 4 件目の LNG 輸出設備を開発すると発表。CP2 LNG プロジェクトはキャメロン郡内に Venture Global 社第 1 の Calcasieu Pass 設備隣接に立地することとなる。Venture Global はまた、FERC に CP2 LNG 設備・CP Express パイプラインの立地・建設・操業の承認を申請した。CP2 LNG は公称液化容量年間 2000 万トンの LNG 設備を建設・所有・操業することとなる。

米 Kinder Morgan, Inc. 子会社の州際パイプライン会社 Tennessee Gas Pipeline (TGP) は、2021 年 12 月 15 日、TGP システム上の複数地点で、責任ある調達天然ガス (RSG) アグリゲーション・プーリングサービスを実施する計画を FERC に提出した。RSG は、特にメタン排出削減関連で環境・社会・ガバナンス基準に合致する第三者認証を受けた天然ガスである。計画されているサービスでは、TGP 上の供給者・買主が、RSG 供給を、仮想地点で売買し、TGP システムに接続する最終需要家、公益事業会社、発電設備、LNG 設備に供することができるようのように設計されている。資格を有する第三者機関から RSG 認証を受けた生産者が、この計画されているプーリングサービスに必要となる RSG を供給すると予想される。このサービスは 2022 年第 1 四半期から利用可能となる見込み。

米 Jordan Cove Energy Project L.P. (JCEP)、Pacific Connector Gas Pipeline, LP (PCGP) は、2021 年 12 月 1 日、FERC に、許可取り消しを申請した。

米 ExxonMobil は、2021 年 12 月 6 日、米国 Permian 盆地自社操業資産からの温室効果ガス (GHG) 排出ネットゼロを 2030 年までに達成する計画である、と発表した。この計画は、上流温室効果ガスインテンシティを 2016 年比 2030 年までに 40%-50% 引き下げる全社取り組みの一環である。

ExxonMobil は、2021 年 12 月 13 日、Scepter, Inc. との間で、世界大でのメタン排出検知に関して、最新衛星技術、固有データ処理プラットフォーム開発へ協力することに合意したことを発表した。第 1 段階では、衛星配置・監視範囲の計画を設計・最適化し、先ず Permian 盆地での ExxonMobil 事業からのメタン排出データ収集に焦点を置く。Scepter は 2023 年に衛星配置を行い、3 年間で 24 基以上の衛星を配置する。

豪 Woodside は、2021 年 12 月 7 日、自社水素生産ポートフォリオを米国に拡大し、将来的モジュラー水素生産設備開発のためオクラホマ州に用地を確保して、Hyzon Motors と覚書 (MoU) を締結したことを発表した。この H2OK 構想は、当初 290-MW の設備を建設、電解装置により、大型輸送部門用に液化水素日量 90 トンを生産する。

【中東】

サウディアラビア Saudi Aramco は、2021 年 12 月 6 日、自社ガスパイプライン網のリース・リースバックに関する取引を BlackRock Real Assets ・自国社会保険投資会社 Hassana Investment Company を中心する企業連合体と締結したことを発表した。新たな関係会社 Aramco Gas Pipelines Company が、20 年間、Aramco ガスパイプライン網使用権を、リースした上で Aramco にリースバックする。Aramco は、Aramco Gas Pipeline Company の 51%を持ち、49%が BlackRock ・ Hassana 投資家連合に所有される予定。

カタール QatarEnergy は、2021 年 12 月 6 日、LNG 生産子会社 Ras Laffan Liquefied Natural Gas Company Limited が、广 能源集 天然气有限公司 (GEG) との間で、中国向け LNG 年間 100 万トン、2024 年から 10 年間の供給に関して、長期売買契約 (SPA) を締結したことを発表した。

QatarEnergy は、2021 年 12 月 8 日、子会社 Qatar Liquified Gas Company Limited (2) が、新港國際天然氣貿易有限公司 (S&T) と、中国向けに LNG 年間 100 万トン、2022 年末から 15 年間の長期売買契約 (SPA) を締結した、と発表した。LNG 引き渡しは、カタールの在来型、Q-Flex、Q-Max LNG 輸送船舶を用い、主に唐山基地で受け入れることとなる。

TotalEnergies は、2021 年 12 月 21 日、オマーンのエネルギー・鉱物省との間で、同国の天然ガス資源の持続性ある開発に関して複数の協定を締結したことを発表した。その中身は、まず TotalEnergies (80%) ・ Oman National Oil Company, OQ (20%) 間の統合型企業 Marsa LNG の設立を含む。Marsa LNG は第 10 鉱区より天然ガスを生産し、将来的には Sohar に太陽光発電動力によるバンカー燃料向け LNG 生産を検討する。第 10 鉱区で天然ガスを開発・生産するための鉱区協定も含まれる。Marsa LNG は同鉱区の 33.19%を持つこととなり、パートナーは OQ および、Shell Integrated Gas Oman B.V. (オペレーター) となる。さらに Marsa LNG が同鉱区の天然ガスをオマーン政府に、18 年間、あるいは Marsa LNG 設備稼働開始まで販売するガス売買契約である。

【アフリカ】

カタール QatarEnergy は、2021 年 12 月 13 日、Shell との間で、紅海エジプト側での沖合鉱区 2 件の持分取得契約を締結した。QatarEnergy は、紅海第 3、4 鉱区の 17%を持つこととなる。

New Fortress Energy (NFE) は、2021 年 12 月 21 日、モーリタニア政府と、同国沖合ガス埋蔵量を活用する天然ガス、電力、LNG、ブルーアンモニアを含むエネルギーハブ開発に関して覚書 (MOU) を締結したと発表した。NFE は、同国地元ガス・電力市場、国際輸出向けの LNG を生産するため、自社 "Fast LNG" 液化技術を適用する。

【欧州・ロシア】

欧州委員会は、2021年12月15日、メタン排出削減を目指す規制案を含むガス法案パッケージを発表した。同法案は、日常的フレアリング、ベンディングの禁止を含む。ガス企業は、当該機関に承認を受ける排出源レベルでのメタン排出報告、漏洩検知・修理プログラムを策定、輸入化石燃料に関する情報を提出することを義務付けられることとなる。

Shell は、2021年12月20日、Royal Dutch Shell 取締役会が、株式構造の簡素化、英國に税法上の拠点と企業の本拠地を揃える提案を推進することを決定したことを発表した。同取締役会はまた、会社名を2022年1月 Shell plc と変更することを決めた。

SGN、Macquarie 傘下 Green Investment Group (GIG)、Esso Petroleum Company, Limited (ExxonMobil 子会社) は、2021年12月8日、サザンプトン工業団地に、排出削減支援、水素・炭素回収利用検討のため、基本合意 (MoU) を締結したことを発表した。

ギリシャ Gastrade SA は、2021年12月30日、自国天然ガス網操業企業 DESFA SA と自社が、Gastrade 株式 20%を DESFA に移管する株式移管契約を締結したことを発表した。Gastrade は Alexandroupolis に LNG 浮体貯蔵・気化設備 (FSRU) を開発しており、2023年までに稼働開始見込みである。

カタール QatarEnergy は、2021年12月10日、ExxonMobil との連合により、キプロス政府との間で、その南西部沖第5鉱区の開発・生産物分与契約 (EPSC) を締結したことを発表した。QatarEnergy にとって、同連合で2017年獲得し2019年2月に推定資源量 5 - 8 tcf の "Glaucus" ガス田を発見した第10鉱区に続く2件目の探査鉱区となる。QatarEnergy は第5鉱区の 40%を持つこととなり、ExxonMobil はオペレーターとして 60%を持つこととなる。

ロシア Gazprom の速報値によると、2021年1-11月、同社は前年同期比 14.7%、600億 m³ 増の 4676 億 m³ のガスを生産した。国内供給は 15.8%、304 億 m³ 増加した。FSU 外輸出は 1715 億 m³ と 6.6%、106 億 m³ 増加した。Power of Siberia パイプラインによる中国向けガス供給は引き続き増加している。11月以降、中国側要請により毎日契約義務を 3 分の 1 以上上回って供給している、と述べた。

Gazprom は、2022年1月2日、2021年は自社ガス生産が 5148 億 m³ と過去 13 年間の最高、FSU 域外への輸出が 1851 億 m³ と自社史上 4 番目の記録となり、記録破りの年となった、と述べた。同社はまた Nord Stream 2 パイプラインが 2021 年 12 月 29 日、完全に稼働開始準備が完了した、と述べた。

ロシア NOVATEK は、2021年12月7日、RWE Supply & Trading GmbH との間で、LNG 供給・脱炭素化で協力する覚書 (MOU) を締結したと発表した。NOVATEK が自社 Obskiy GCC (ガス化学コンプレックス) で生産した低炭素アンモニア・水素を RWE 向けに引き渡す供給を想定する。LNG 供給面でも、既存スポット供給に加え、Arctic LNG 2 その他プロジェクトで生産する LNG 長期供給可能性も含め、協力関係強化を進める。

NOVATEK は、2021年12月22日、自社・ドイツ Uniper が、低カーボンアンモニア年

間 120 万トンの長期供給に関して基本条件を締結したと発表した。このアンモニアは、NOVATEK が計画する Obskiy GCC（ガス化学コンプレックス）プロジェクトで生産される見込み。同コンプレックスには、炭素回収・貯留（CCS）設備を含む。このアンモニアは、Uniper が計画する、再生可能エネルギーで運転するアンモニア分解装置を含むヴィルヘルムスハーフェンのアンモニア輸入基地に向けられる。輸入された低カーボンアンモニアは、水素キャリアとして利用され、ガス状水素に転換され、将来のドイツの水素パイプライン網に注入されるとともに、直接クリーン原料、燃料として供給される。

Gazprom は 12 月 21 日、サハリン - ハバロフスク - ウラジオストック ガス幹線パイプラインのコムソモルスクオナムル・ハバロフスク区間 390.8 km を完成したと発表した。

【南米】

Excelerate Energy は、2021 年 12 月 9 日、ブラジルのバイア州サルバドールの Bahia 気化基地（TR-BA）にて Petrobras との賃貸借契約に基づき天然ガス引き渡しを、同 8 日に開始したことを発表した。LNG 貯蔵容量 173,400 m³・気化容量最大日量 7 億立方フィート（年間 530 万トン）を持つ Excelerate 浮体貯蔵・気化機器（FSRU）Excelerate Sequoia が、Excelerate Flexible Integrated Terminal（E-FIT）方式により配置されている。

New Fortress Energy Inc.（NFE）は、2021 年 12 月 13 日、Norsk Hydro ASA 子会社と、ブラジルのパラ州 Alunorte アルミナ精製設備向けの 15 年間ガス供給契約を締結したことを発表した。NFE は、2022 年完成予定の Barcarena LNG 基地より、年間 29.5 TBtu（57 万トン相当）の天然ガスを供給することに合意している。

Höegh LNG は、2021 年 12 月 28 日、ブラジル Terminal de Regaseificação de GNL de São Paulo S.A.（TSRP）と 10 年間の FSRU 用船契約を締結したことを発表した。TSRP は、子会社 Comgás がブラジル最大のガス配給会社となっている Cosan Group 傘下の Compass Gás & Energia の子会社である。Höegh Gannet がこの傭船に配置され、稼働開始は 2022 年末から 2023 年初を見込んでいる。

米 Eagle LNG Partners LLC は、2021 年 12 月 10 日、西インド諸島アルーバに LNG 受入基地を設置するため長期供給契約を地元電力・水道公益事業企業 WEB Aruba と締結したと発表した。Aruba LNG 基地は、WEB の Balashi 発電設備向け LNG 受入基地となる。

【グローバル、原油市場】

Gunvor は、2021 年 12 月 16 日、自社 LNG 関連活動運転資金のため銀行団から 11.35 億米ドルの新規融資枠契約を締結したことを発表した。この一環として Gunvor は自社 LNG バリューチェーンの CO₂ 排出報告を公約している。

参考資料: 各社発表, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp